

感性のかがやきが感動を生む

～ 第63回東京都公立学校美術展覧会を終えて～

指導部主任指導主事 古屋 真宏

「『素晴らしい!』の一言です。」「どの区市町村の作品も個性があり、丁寧に作られていました。」「先生方のご指導とご協力があったの美術展。心から感動し涙が出ました。」

子供たちが豊かな感性と創造性を思う存分発揮してつくり上げた作品は、いずれも逸品であり、来場者を感動させ、多くの称賛の声が会場にあふれていました。

平成25年度学校文化行事第63回東京都公立学校美術展覧会が、上野の東京都美術館を会場に、2月9日(日)から14日(金)まで開催されました。本年度は、都内の公立小・中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の子供たちの代表作品、約1万3千点が会場を埋め尽くし、約5万7千人の来場者にお越しいただき、無事終了いたしました。

8日(土)14日(金)の搬入、搬出日は、ともに大雪の中での作業となりました。区市町村教育委員会の皆様と担当の先生方が黙々と搬入・搬出を行い、宝物を扱うように作品展示や撤収作業を進める姿から、子供たちの作品を本当に大切にされている思いが、ひしひしと伝わってきました。このような、関係者の皆様の思いが、63回を重ねる伝統ある東京都公立学校美術展覧会を支えてきたのだと改めて実感しました。皆様の御理解と御協力に心から感謝申し上げます。

また、本年度は、特別展示として2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、新宿区の四つの小学校の子供たちの協同制作の作品が展示されました。まさしく、スポーツと芸術とが融合した迫力ある作品であり、2020年への気運を高めるものとなりました。

次年度も引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

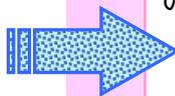
「発展的な学習を推進するための指導資料」説明会を開催します	2
小学校・算数における習熟度別指導の推進について	4
「理数教育の窓」 理数好きの子供たちを育てるために	5
「道徳教育の窓」 東京の子供たちの豊かな心を育む	6
「特別支援教育の窓」 全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して	7

東京都教育委員会ホームページ内に「学び応援ページ」というコーナーがあるのを御存じですか？

「学び応援ページ」には、各学校が、指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図ることを応援するための、様々な事例集や報告書等を掲載しています。ぜひ、御覧いただき、参考にさせていただければと思います。なお、本通信のバックナンバーも、「学び応援ページ」に掲載しています。

(東京都教育委員会ホームページアドレス
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>)

学び応援ページを御活用ください!



東京都教育委員会ホームページ・トップページ
の下の方に、このバナーがあります!



本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを御送信ください。

「発展的な学習を推進するための指導資料」 説明会を開催します

東京都教育委員会では、習熟の程度の早い児童・生徒に対する指導の工夫に資することを目的として、「発展的な学習を推進するための指導資料」の「小学校編」(平成23年3月 国語・社会・算数・理科各冊)、「中学校編」(平成24年3月 国語・社会・数学・理科・外国語(英語)各分冊)をそれぞれ各学校に配布するとともに、具体的な活用方法を提案するため、「発展的な学習を推進するための指導資料説明会」を平成24年度から開催しています。

本年度は、中学校国語及び中学校数学の指導資料説明会を開催いたします。生徒一人ひとりの習熟の程度に応じた指導の充実を図るため、多くの先生に御参会いただきますよう、お願いいたします。

発展的な学習の基本的な考え方と指導事例

発展的な学習の定義と育成したい資質・能力

発展的な学習とは・・・

学習指導要領の内容をさらに深めたり、広げたりする学習。

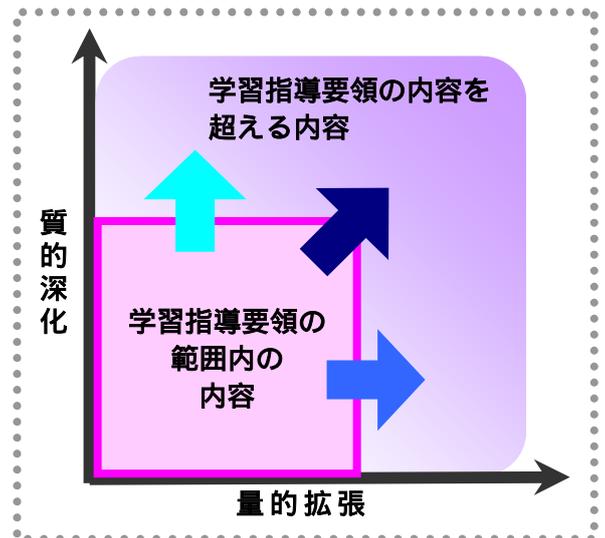
学習指導要領の内容をさらに進める(超える)学習。

主体的に学習に
取り組む態度

基礎的・基本的な
知識・技能

思考力・判断力・
表現力等

学力の3つの要素を
バランスよく育成



「指導資料」掲載の指導事例(数学「ビリヤードについて考えよう」より)

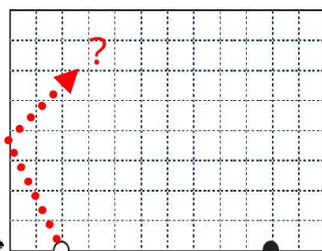
6. ワークシート

ビリヤードについて考えよう

3年 組 氏名

※ 白い球を黒い球に当てるためには、白い球をどのようにすればよいですか。

球の跳ね返り方には、何か
決まりがあるのかな。
当て方は何通りくらい考
えられるのかな。



相似な図形の性質についての知識や作図の
技能を活用して、課題を解決する。

白い球を壁に当てる回数やはじめに置く球の
位置を変えたときの当て方など、自分で課題
を決めて学習を進める。

発展的な学習は、身に付けた知識・
技能を「活用」したり、自分で設定した
課題を「探究」したりする学習活動が
中心となります。

「発展的な学習を推進するための指導資料」説明会のお知らせ

中学校編・国語の説明会概要

日時：平成 26 年 3 月 11 日（火）
午後 1 時 30 分～午後 4 時
（受付開始 午後 1 時 10 分）
場所：東村山市立東村山第六中学校
JR 武蔵野線 新秋津駅下車
徒歩 15 分
西武池袋線 秋津駅南口下車
徒歩 20 分

公開授業

対象学年 第 2 学年

単元名 **入学式のお知らせを出そう**
～ 目的や場に応じて工夫して書き
分ける（書くこと）～

中学校編・国語の説明会では、第 2 学年を対象に、「書くこと」の単元で公開授業を行った後、「発展的な学習を推進するための指導資料」について説明します。

「入学式の案内を作成する」という共通の取組の中で、「新入生（現小学校 6 年生）」「地域の方」「自分も御世話になった小学校の先生」など異なる対象に対して、文章の形態や言い回し、語句の使い方などに工夫をしながら書き分けるという内容です。意図や目的に応じて効果的に書くことについて、相互に学び合う場面を設定しながら指導します。

説明会では、他の指導事例等についても触れながら、国語科における発展的な学習の在り方について、説明します。



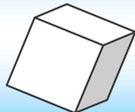
中学校編・数学の説明会概要

日時：平成 26 年 3 月 6 日（木）
午後 1 時 40 分～午後 4 時
（受付開始 午後 1 時 20 分）
場所：豊島区立千川中学校
東京メトロ有楽町線
東京メトロ副都心線
要町駅下車 徒歩 5 分

公開授業

対象学年 第 1 学年

単元名 **立方体を切断しよう**
空間図形（図形）



中学校編・数学の説明会では、第 1 学年を対象に、「空間図形」の単元で公開授業を行った後、「発展的な学習を推進するための指導資料」について説明します。

立方体の切断を通して、辺や面が平行になること理由について筋道をたてて説明させる活動を単元の中に位置付け、空間図形への理解を深められるようにすることをねらいとしています。また、第 3 学年の三平方の定理の学習において、直方体の対角線の長さを求めたり、直方体に含まれる立体の表面積や体積を求めたりすることの素地を養うことも視野に入れていきます。

説明会では、他の指導事例や「指導資料」に所収している「ミニ事例集」などを紹介しながら、数学科における発展的な学習について説明します。

「発展的な学習を推進するための指導資料」説明会に参加を希望される場合は、区市町村教育委員会を通してお申込みください。（現在、区市町村教育委員会に参加希望の集約をお願いしています。）

また、大学生など、教員として学校に所属されていない方で参加を希望される場合には、下記まで直接お問合せください。
（教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課 TEL 03-5320-6841）

「発展的な学習を推進するための指導資料集」小学校編・中学校編は、



で閲覧することができます。

小学校・算数における習熟度別指導の推進について

東京都教育委員会では、東京の子供たち一人ひとりの「確かな学力」の定着と伸長を図るため、様々な施策を展開しています。小学校算数については、全ての小学校の第3学年から第6学年までの算数の授業において習熟度別指導が可能となる指導体制の充実と、児童一人ひとりの学習状況に応じて前の学年の内容にまで立ち戻る指導の徹底を推進します。

「東京方式 習熟度別指導ガイドライン」に基づいた効果的な指導の実施

全ての学校で、より効果的な習熟度別指導が行えるようにするための指針として、「東京方式 習熟度別指導ガイドライン」を策定しました。子供たち一人ひとりの習熟の程度に応じた学習指導に関わる指導方法・指導体制及び校内での習熟度別指導の推進体制等についての内容が載っています。この「ガイドライン」に基づく指導を通して、全ての児童が「教科書の基礎的な問題」を確実に解くことができるようにすることを目標とします。

3月に都内各小学校に配布する「東京ベーシック・ドリル」は、小学校4年生までに身に付けさせる必要がある基礎的・基本的な内容をまとめた教材であり、その算数版には各学年の基礎的な問題をまとめた「診断シート」が入っています。この「診断シート」を、児童の学力の定着状況や学習到達度を測る際に活用します。

1月に、各小学校の校長先生方にお集まりいただき、「ガイドライン」に基づいた算数における習熟度別指導の推進について、説明会を開催いたしました。御参加いただき誠にありがとうございました。説明会でいただいた御質問等を踏まえ、以下にQ & Aをお示しします。

Q. 「ガイドライン」に基づく習熟度別指導は、いつから実施されるのですか？

A. 平成26年度から算数の習熟度別指導を新規で実施する学校（新規で加配を受ける学校）は、平成26年度から「ガイドライン」に沿った実施となります。平成27年度からは、習熟度別指導を実施する全ての小学校で「ガイドライン」が適用されます。

Q. 平成27年度からの実施に向けて、どのように準備を進めればよいのですか？

A. 平成26年度から算数の習熟度別指導を新規で実施する学校に対して、平成26年3月に実施方法等に関する説明会を行います。また、平成27年度からの全面実施に向け、先行実施校の取組や成果等を随時全都に周知していきます。さらに、平成26年8月下旬に、都内公立小学校の先生方を対象とした習熟度別指導の推進に向けた研修会を開催する予定です。

平成27年度から実施する学校につきましても、「ガイドライン」の内容を全教職員が理解し、校内体制を整備するなど、円滑な実施に向けた準備をお願いします。

Q. 「東京ベーシック・ドリル」は、どのように活用すればよいのですか？

A. 「東京ベーシック・ドリル」の算数（第1学年～第4学年）は、「診断シート」「解説シート」「練習シート」で構成されています。このうちの「診断シート」（学力の定着状況や学習到達度を測るシート）を、小学校卒業までに全ての児童がクリアすることを目指します。基礎・基本を確実に定着させて「できない」「わからない」をなくし、児童の自信と学習満足度を向上させます。

「診断シート」にある問題を全て解くことができた場合には、当該学年の「東京ベーシック・ドリル」はクリアとなります。間違えた問題があれば、その問題について「解説シート」で復習し、複数枚ある「練習シート」を利用することでできるまで繰り返し取り組むことができます。

「東京ベーシック・ドリル」は電子データでの配布となりますので、必要に応じて加工し「練習シート」を増やすことも可能です。また、学校で独自に作成したプリントや市販の教材、各地区教育委員会作成の教材等がある場合には、それらを補完するものとして効果的に活用ください。

東京都の全ての子供たちの「できない」「わからない」を
「できる」「わかる」に！



「理数教育の窓」 理数好きの子供たちを育てるために

東京ジュニア科学塾が閉講しました

平成 25 年 7 月から東京都教育委員会では、東京都から未来の科学技術を担う人材を輩出することを目的として、「東京ジュニア科学塾」を実施してきました。科学に高い関心をもつ都内公立中学校の第 1 学年生徒 40 名が、最先端の技術を活用したものづくりや、大学等の研究機関の施設を使った実験や実習などに取り組みました。

最終回の第 8 回では、独立行政法人理化学研究所仁科加速器研究センター長の延與秀人先生による「宇宙誕生 100 万分の 1 秒後の謎」という演題の講演を聴き、平成 25 年度の東京ジュニア科学塾が閉講しました。



第 1 回 白川英樹先生による講演



第 2 回 気象庁



第 2 回 ソニー・エクスプローラサイエンス



第 3 回 観音崎自然博物館



第 4 回 芝浦工業大学



第 4 回 東京都水道局



第 5 回 都立科学技術高等学校



第 6 回 国立科学博物館



第 7 回 電気通信大学



第 8 回 延與秀人先生による講演



第 7 回 国立天文台

<生徒のアンケートから>

科学塾で学んだことと関連していることが理科の授業で出てくると、すぐに科学塾の内容を思い出します。科学塾を受講し、自分の視野が広がりました。

普通に生活していたら気付かないことについて講義をしていただき、実験までさせていただいて勉強になりました。また、科学が好きな同年代の仲間と触れ合えて、刺激になりました。

普段、学校では習えないような専門的な事まで習えてよかったです。この科学塾で自分の夢にまた一歩近づくことができました。

「 道 徳 教 育 の 窓 」

東京の子供たちの豊かな心を育む

「東京都道徳教育教材集」と「私たちの道徳」

の活用について



来年度（今年4月）から使用する、文部科学省が作成した道徳教育の教材「私たちの道徳」（小学校1・2年生用、3・4年生用、5・6年生用、中学生用）が公表され、各学校に配布され始めました。

この「私たちの道徳」も「東京都道徳教育教材集」も共に、「道徳の時間」はもちろんのこと、学校の教育活動全体を通じて活用できる、道徳教育の教材集です。

道徳の時間は、現在の教育課程において教科ではないため教科書はありません。したがって、各学校では、「私たちの道徳」や「東京都道徳教育教材集」等の教材を各学校で工夫して活用し、道徳教育の指導を行います。

	東京都教育委員会発行「東京都道徳教育教材集」				文部科学省発行「私たちの道徳」			
特 徴	第1章「先人の言葉に学ぶ」は、先人の残した名言・名句、詩等で、第2章「先人の生き方に学ぶ」は、東京にゆかりのある人物等の伝記読み物資料で内容を構成した、全国では初めての形式の道徳教育教材集 第3章「自分を見つめて学ぶ」は、学習指導要領に示された指導内容の項目順にワークシートで構成し、児童・生徒の発達段階を踏まえ、名言や詩、記事、写真等の資料を掲載。加えて、「東京のアルバム」として、東京都を代表するような建物、風景、文化、出来事等の写真を掲載				学習指導要領に示す道徳の内容項目順に「読み物部分」と「書き込み部分」とで内容を構成 児童・生徒の発達の段階を踏まえ、先人等の名言、偉人や著名人の生き方に関する内容を多く取り上げるとともに、いじめ問題への対応や我が国の伝統と文化、情報モラルに関する内容等を充実			
	小学校1・2年生版 心あかるく	小学校3・4年生版 心しなやかに	小学校5・6年生版 心たくましく	中学校版 心みつめて	小学校1・2年生 わたしたちの道徳	小学校3・4年生 わたしたちの道徳	小学校5・6年生 私たちの道徳	中学校 私たちの道徳
読み物資料の数	6	6	6	8	12	12	13	9
(伝記読み物の数)	(6)	(6)	(6)	(8)	(2)	(3)	(6)	(1)
取り上げた人物	二宮 尊徳 ファーブル 宮沢 賢治 中村 雨紅 手塚 治虫 ナイチンゲール	糸川 英夫 牧野 富太郎 人見 絹枝 ベートーベン 玉川兄弟 後藤 新平	伊能 忠敬 豊田 佐吉 アルキメデス 指田 鴻斎 北村 西望 津田 梅子	辰野 金吾 滝 廉太郎 佐藤 慶太郎 萩原 タケ 嘉納 治五郎 湯川 秀樹 山田 寅次郎 ガリレオ・ガリレイ	二宮 尊徳 ファーブル	高橋 尚子 葛飾 北斎 リンカーン	アーニー・ザリバン 中谷 宇吉郎 野口 英世 澤田 美喜 小川 笙船 加藤 明	石井 筆子

道徳教育の全体計画に、活用についての基本的な方針等を明記してください！

各学校の道徳教育の充実のために、「東京都道徳教育教材集」「私たちの道徳」をどのように学校として活用していくのか、その基本的な方針について全教職員で共通理解を図ることが重要です。

道徳教育の全体計画の作成に当たっては、道徳の時間での活用の仕方を整理し、道徳の時間の基本的な方針の中に位置付けるとともに、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動等での活用の仕方や、特に活用できそうな内容について検討・整理し、明記してください。

道徳の時間の年間指導計画に、位置付けてください！

年間指導計画を立てる際に、各時間のねらいとする道徳的価値に基づき、「東京都道徳教育教材集」「私たちの道徳」の読み物資料等を中心資料として活用する時間を設定してください。

また、「東京都道徳教育教材集」「私たちの道徳」に掲載されている、名言・名句、詩、記事、写真等を補助資料として積極的に活用することとし、この点も、各時間の計画の備考欄等に明記するようにしてください。

「特別支援教育の窓」

全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して

副籍制度とは

都立特別支援学校の小学部・中学部に在籍する全ての児童・生徒が、居住する地域の区市町村立小・中学校（地域指定校）に副次的な籍を持ち、直接的な交流や間接的な交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図る制度です。



副籍制度について

つながりを深める交流のポイントは



子供一人ひとりの「心が育つ」交流

副籍制度に基づく交流は、子供たちの豊かな心を育む機会であり、人権教育の一環でもあります。交流を通じて、相互に助け合う気持ちや思いやりの心が育つように工夫しましょう。

無理なく「続けることができる」交流

息の長い交流を続けることが大切です。例えば、地域指定校、都立特別支援学校、保護者のいづれかに負担がかかる交流は長続きしません。中・長期的な視点をもって、できることから始めましょう。

お互いの「顔が見える」交流

コミュニケーションを深めるためには、実際にふれあう場面を設定することが不可欠です。子供たち同士が「また会いたい」と思えるように工夫しましょう。

児童 生徒同士のふれあいがより充実したものになるよう 創意工夫していくことが求められています。

創意工夫した交流方法をすすめるには

小学校・中学校の先生方の理解と協力が不可欠です。

小・中学校（地域指定校）



特別支援学校の児童・生徒が交流する学級の担任

連携



特別支援教育コーディネーター

障害のある児童・生徒の好きなことや得意なこと、できることを生かすことで、交流を充実させることができます。

障害のある児童・生徒の見え方や聞こえ方、身体の動かし方などに配慮することで、一緒に学習を進めることができます。

どのような交流活動ができるか、学級の児童・生徒と一緒に考えることで、子供同士のふれあいを充実させることができます。

事前に都立特別支援学校の教員による、「出前授業」や保護者の「講話」を行うことが、学級の児童・生徒が障害を理解するために効果的です。

都立特別支援学校の教員と協力し、児童・生徒同士のふれあいがより充実したものとなるよう、創意工夫した交流活動を行っていきましょう。

